

身近な場所で、港区の情報を入手できます！ & 災害時の情報発信力も強化！

本日（9/1）、港区とコカ・コーライーストジャパン株式会社は、

災害時の情報発信力の強化のための実証実験を行うため協定を締結しました。

港区とコカ・コーライーストジャパン株式会社とは、相互の緊密な連携・協力のもとに、災害時の情報発信力強化及び帰宅困難者対策の充実を図ることを目的として協定を締結しました。

今回の実証実験では、港区が新たに構築した「港区デジタルサイネージコンテンツ配信システム」と連携した電子ペーパーサイネージ^(※)付きの自動販売機を、区内各所（区立公園・児童遊園、区有施設等）に設置し、効果的な情報発信に関する実証実験を行います。

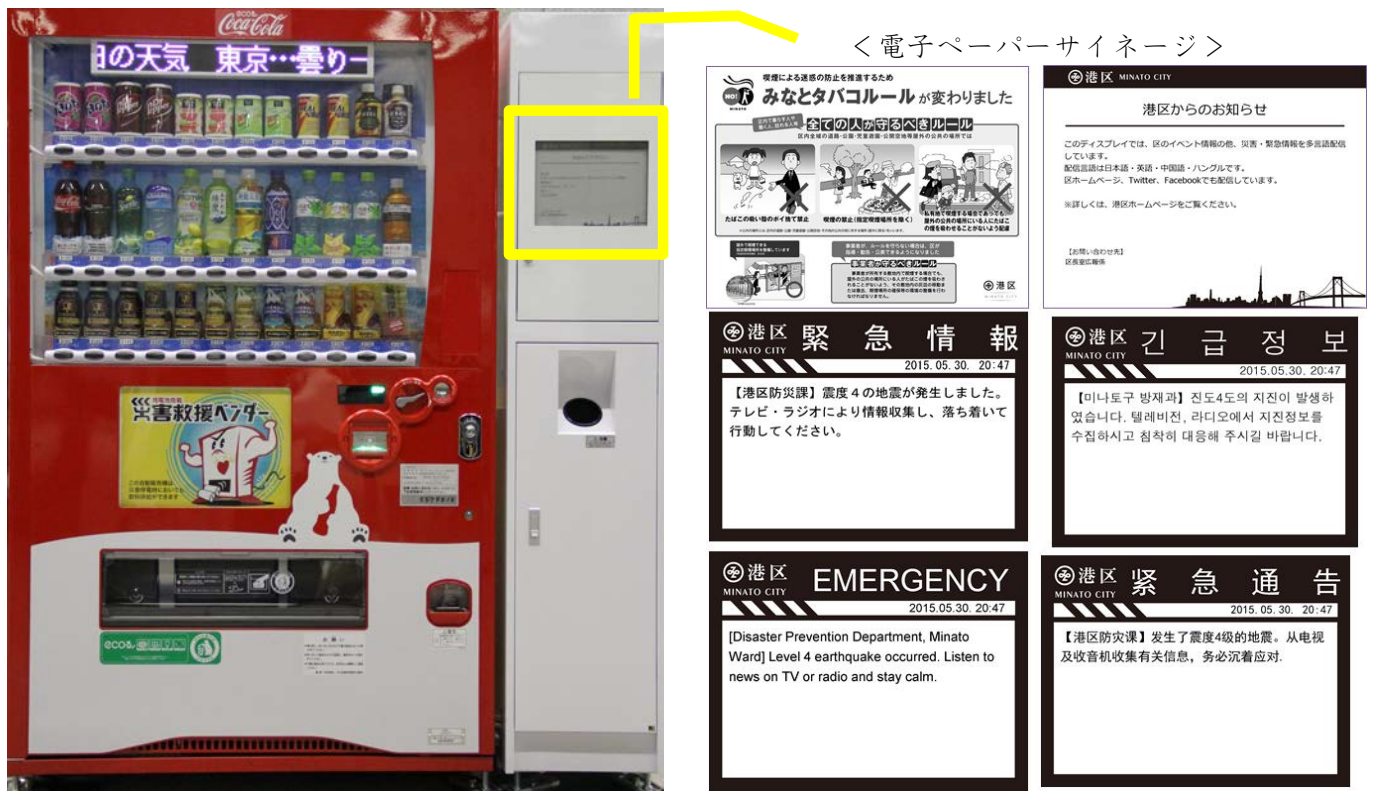
※ 電子ペーパーサイネージとは

電子書籍等で使用されている端末と同様の表示形式機能を持つ超省電力型のデジタルサイネージ。液晶サイネージと異なりカラー表示はできない（16階調程度は表示可能）。

1 実証実験に関する協定の内容

コカ・コーライーストジャパン株式会社様と締結した協定内容は次のとおりです。

- | | |
|------------|--|
| (1) 協定の相手方 | コカ・コーライーストジャパン株式会社
港区赤坂六丁目1番20号
代表取締役社長 カリン・ドラガン |
| (2) 協定締結日 | 平成27年9月1日 |
| (3) 導入機器 | 下記図参照 |
| (4) 検証内容 | ①配信システム及び通信環境との連携
②電子ペーパーサイネージの視認性及び耐久性 等 |



(次ページあり)

2 本事業の内容

- (1) 平常時は、区からのお知らせや施設の利用案内など、役立つ情報を配信します。
- (2) 災害時・緊急時には、緊急情報配信システムと連動した、地震や大雨、光化学スモッグなどの防災情報、不審者等に関する安全・安心情報などを、配信します。
 - ※ この自動販売機は、「港区デジタルサイネージコンテンツ配信システム」と連携した電子ペーパーサイネージを搭載した自動販売機で、電力供給が停止した状態でも、72時間程度情報発信を継続できる仕様となっています（現在、構築中）。
- (3) 災害時には、区民や帰宅困難者等に自動販売機内に格納している飲料水を無償提供できます。
 - ※ 1基あたりの格納数：最大252本（500ml）又は595本（250ml）
 - ※ 無償提供するための鍵（ID）は区が管理し、通信により飲料水を提供します。
- (4) コカ・コーライーストジャパン株式会社様による地域貢献として実施するため、区の経費負担なしに、区内各所に、災害対策仕様のデジタルサイネージを設置することができます。
 - ・使用料は、全額徴収します。
 - ・電気代は、民間事業者が負担します。
 - ・電子ペーパーサイネージの設置費用（初期費用含む）及び保守管理経費は、民間事業者が負担します。
 - ・港区デジタルサイネージコンテンツ配信システムと接続するための通信環境に係る経費は、港区が負担します。

3 設置候補地

区民や帰宅困難者への情報提供に有効な場所を選定し、配置します。

- (1) 区立公園・児童遊園 ※公衆トイレ付近
- (2) 区役所・総合支所・保健所・区民センター等 ※屋外

4 スケジュール

- | | |
|-------|---|
| 9月1日 | 港区と民間事業者（飲料メーカー）とで「自動販売機を活用した災害時の情報発信力強化のための実証実験に関する協定書」を締結 |
| 9～10月 | 区内で実証実験及び事業検証（各地区1～2か所程度） |
| 11月頃 | 本格実施に伴う協定締結、順次、事業拡大 |

■ 添付資料

- (1) 本協定締結にあたり（港区長、コカコーライーストジャパン(株)代表取締役社長）
- (2) 協定書
- (3) 港区のデジタルサイネージを活用した情報発信システムの概要

問合せ 港区 企画経営部 区長室

区長室長 しんぐう 新宮 弘章 ☎03-3578-2035

広報係長 竹村 多賀子 ☎03-3578-2036